



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2020

No. 30 (令和3年1月31日発行)

## 第15回全国高校生英語ディベート大会 5位入賞!

令和2(2020)年12月26(土)、27(日)に、「第15回全国高校生英語ディベート大会」が開催され、SGHクラブディベート班の2年2組小林杏珠、2年2組兵藤かほる、2年4組江部青飛、2年4組岡部豪太がオンラインで出場しました。その結果、予選6試合で4勝1敗1分けし、**全国5位入賞**を果たしました!この結果は、SGHクラブディベート班創設以来初の快挙です。



### ■ 今回の論題

**Japanese government should ban production and sales of fossil-fueled cars, including hybrid cars, by 2035.**

-日本政府は、2035年までにハイブリッド車を含む全ての化石燃料車の製造と販売を禁止するべきか否か

### ■ 結果

第1試合 vs 稲毛(千葉)	△引き分け	第4試合 vs 一関第一(岩手)	○勝ち
第2試合 vs 市立浦和(埼玉)	×負け	第5試合 vs 聖光学院(神奈川)	○勝ち
第3試合 vs 出雲(島根)	○勝ち	第6試合 vs 橋本(和歌山)	○勝ち

## ■ 当日のスケジュール

### 【1日目】

8:30	受付
9:00	開会式
10:00	第1試合
12:30	第2試合
14:45	第3試合
17:00	第4試合
18:00	オンライン交流会

### 【2日目】

8:30	受付
9:00	第5試合
11:00	第6試合
13:00	予選結果発表
13:30	準決勝
15:00	決勝
16:00	表彰式・閉会式



今大会は、YouTube で生配信されるとともに、2月21日付の下野新聞にも掲載されました！

## 高校生英語ディベート

【佐野】佐野高SGH（スーパーグローバルハイスクール）クラブディベート班が、このほどオンラインで出場した第15回全国高校生英語ディベート大会で5位、第6回P.D.A高校生即興型英語ディベート全国大会でベスト8の好成績を収めた。それぞれチームワークの良さを要因に挙げており、江部青飛班長（17）は「英語力や知識、本戦の心構えなど後輩たちに伝えていきたい」と意欲を見せている。（藤田りか）

## 即興型大会もベスト8

二つのディベート全国大会で好成績を収めた佐野高SGHクラブディベート班

# 佐野高堂々 全国5位

江部さんと小林杏珠さん（17）、岡部豪太さん（17）、兵藤かほるさん（18）の2年生チームが出場した。論題は眞予選と同じ「日本は政府は、（ハイブリッド車も含む）化石燃料車の製造と販売を2035年までに禁止すべきである」で、予選での弱点だったデータの活用を強化し、的確な事例と構成で展開した。米国の留学生に英語力を高めた兵藤さんは「データ収集で1年生の協力が大きく、出陣者は議論に集中できた」と振り返る。

その場で出された論題で議論するP.D.A高校生即興型英語ディベート全国大会にも64チームが参加。2年生の新井優平さん（17）、1年生の横塚功樹さん（16）、同士の屋串輝さん（16）が出場した。3人は「マスクの着用を義務化すべきだ」「メディアが自殺のニュースを報道すべきではない」などタイムリーな四つの論題で議論を展開した。ベストディベーターに選ばれた新井さんは柔軟な対応力が持ち味で「あらかじめ論題を想定して臨んだ。満足はいく成績」と話す。

生徒たちはチームワークの良さを仲間同士の技量を高め、着実に力を付けた。その上で、顧問の川俣海瑠教諭（25）は「全国大会出場決定後、県内強豪校から具体的なアドバイスをいただき好成績につながった」と支援に感謝している。

下野新聞  
2021年2月21日付  
25面